

広島大学短期交換留学プログラム 派遣留学報告書
HUSA (Hiroshima University Study Abroad) Program Report

記入日/Date 2023年7月15日(YYYY/MM/DD)	
ふりがな 氏名 / Name	学生番号 / Student ID
本学での所属学部・研究科 School/Graduate School at HU	人間社会科学 研究科 修士2年次(Year) (留学開始時点(When Started))
派遣プログラム Name of Program	■HUSA □USAC □UMAP
留学先大学 Host University	オークランド大学 (国名/Country: ニュージーランド)
所属学部・学科等名 School/Graduate School at Host	教育・社会福祉学部、マオリ研究
在籍身分 Status at Host University	Exchange student (ex. Exchange Student, Special Auditing Student)
留学期間 Period of Program	2023年2月27日 ~ 2023年6月27日 (YYYY/MM/DD) (YYYY/MM/DD)

1. 留学するまで / Preparation for the Program

留学への志望動機・ 派遣先大学を希望した理由 Purpose of Study / Reason of Host Choice	自身の研究関心について学びを深めるため、オークランド大学を志望した。先住民教育について研究しており、ニュージーランドではマオリ教育が発展していると感じた。そこから、教育実践と、先住民教育が発展している理由を学びたいと考えた。
留学準備を始めた時期（応募する 何か月前ですか？） Commencement of Preparation for Application	応募する1か月前に、HUSAについて詳しく調べ始めた。どのような提携校があるのか、希望する留学期間に受け入れ可能かどうか、などニュージーランドへ留学する方法をとにかく調べていた。
事前準備について（どのような準備 をしたか、しておけばよかったか） Preparation Completed Prior to Study Abroad	準備してよかったことは、IELTSの受験である。NZへの派遣は、IELTSスコア6.0以上が条件として必要であった。IELTSは受験から結果が届くまで時間がかかる。事前にスコアを取得していたおかげで、締め切り直前でもHUSAに応募することができた。

2. 渡航について / Visa and Flight Information

ビザについて Visa	ビザの種類 / Visa Type : Student Visa ビザ申請先 / Location of Visa Application : NZ immigration (website) 提出書類 / Required Documents : 銀行の残高証明、受け入れ許可証、帰国の航空券 手続きに要した日数 / Duration of Visa Application Process : 2週間~1か月ほど
その他必要な事前手続き Other Required Procedures	家探し、国際送金サービスの利用登録、携帯のSIMロック解除
出国年月日 / Date of Departure	2023年2月15日 (YYYY/MM/DD)
経路（往路） / Route (Outward)	名古屋→シンガポール→オークランド（オークランド→東京→名古屋）

現地での出迎え Pick-up Service	<input checked="" type="checkbox"/> 有/Yes (大学関係者/Univ. Staff) <input type="checkbox"/> 無/No	
到着後オリエンテーションの有 無・期間・内容 Orientation, Period, Contents	<input checked="" type="checkbox"/> 有/Yes <input type="checkbox"/> 無/No	有の場合 期間/Period : <u>2/20</u> - <u>2/24</u> (If Yes) 内容/ Indicate Content Covered during Orientation
帰国年月日 / Date of Return	2023 年 7 月 15 日 (YYYY/MM/DD)	
経路(復路) / Route (Return)	オークランド→東京→名古屋	

3. 留学費用について / Expenses

支 出 額 / Expenses	総額		約85万	円/yen
	Total Amount			
内 訳 Details	渡航費(往復) / Flight Ticket (Round Trip)		約15万	円/yen
	ビザ申請手数料/ Visa Application Charge		約3000	円/yen
	予防接種費用 / Immunization Charge		0	円/yen
	保険料 / Travel Insurance		約8万	円/yen
	教材費(授業料以外の学費) / Learning Material (Extra Tuition Fee)		0	円/yen
	宿舍費(住居費) / Accommodation Fee		月額7万	円/yen
	光熱費 / Utility Cost		0 (住居費に含まれる)	円/yen
	食費 / Meal Cost		月額4万~5万	円/yen
	通信費(インターネット・携帯) / Internet, Phone		月額2000	円/yen
	交通費(宿舍-大学間) / Transportation (Accommodation ~ Univ, Campus)		300 (往復)	円/yen
	交際費 / Social Expenses		3万	円/yen
	その他 / Others (費) (費) (費)			円/yen 円/yen 円/yen

4. 授業・修学について / Courses and Study

授業の概要について(カリキュラム、プログラム、履修した科目、時間数、履修形態等) / Brief Description of Courses (Curriculum, Program, Registered Courses, Study Hours, Course Style)	① 「マオリ教育」 ・週1日 3時間(授業2時間、チュートリアル1時間) ・対面方式 ② 「ニュージーランドの多様性」 ・週1日 3時間(授業2時間、チュートリアル1時間) ・対面方式 ③ 「ハカ入門」 ・週1日 3時間 ・対面方式
単位互換希望の有無 / Credit Transfer from Host to Home University	<input type="checkbox"/> 有/Yes <input checked="" type="checkbox"/> 無/No
授業・勉強についてのアドバイス(留学前の履修、留学中、単位取得等) / Advice for Class and Study (Before and During Study Abroad)	

日本と異なる授業形態などにおける困難や挑戦 (ティーチングスタイル・先生と学生との関係性など)/ Difficulties and Challenges Faced in Classes Different from Japan (Teaching Style, Relationship with Professors/Lecturers)	ディスカッションや意見交換の場が多いため、自分から積極的に発言していくことが大切。内容がとても複雑というわけではないが、ただ受け身で聞いているだけでは、授業内容が身につかないと感じた。また、現地生徒は留学生に慣れているため、こちらが理解できないときは何度も聞き返したり、簡単に言ってもらうなどしてしっかり頼ることが大切である。生徒と先生との関係は、日本と比べて近いように思う。とても親しみやすく、生徒も教授を下の名前で呼んでいたりする。
---	--

5. 生活等について / Lifestyle	
(1) 留学先の住居について / Accommodation	
住居の種類 Type of Accommodation	<input type="checkbox"/> 大学の寮 / University Dormitory <input type="checkbox"/> アパート / Apartment <input checked="" type="checkbox"/> その他 / Others (フラット)
住居の広さ Size of the Room	約/approximately 10 m ² 同居人の有無 Roommate(s)? <input checked="" type="checkbox"/> 有 / Yes (4 人/People) <input type="checkbox"/> 無 / No
住居に附属する設備 Facilities in Accommodation	<input checked="" type="checkbox"/> 電気/ Electricity <input checked="" type="checkbox"/> ガス/ Gas <input checked="" type="checkbox"/> 水道/ Water <input checked="" type="checkbox"/> 給湯/ Hot Water <input checked="" type="checkbox"/> シャワー/ Shower <input checked="" type="checkbox"/> 風呂/ Bathtub <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所/ Flushable Toilet <input type="checkbox"/> 暖房/ Heating <input checked="" type="checkbox"/> 冷房/ Cooling <input checked="" type="checkbox"/> 台所/ Kitchen <input checked="" type="checkbox"/> 食堂/ Dining Room <input type="checkbox"/> 固定電話/ Land-Line Phone <input checked="" type="checkbox"/> インターネット/ Internet <input type="checkbox"/> その他/ Others ()
住居費 Accommodation Fee	1ヶ月当たり/ per month (現地通貨/ local currency) 約/ approximately 7万円/yen
留学先での住居全般に関するアドバイス Accommodation Advice	金額と立地を十分に比較するべきです。キャンパス付近に大学の寮もありますが、私は週に1度しかキャンパスに行かず、家賃も月額10万円ほどするため入居しませんでした。初めに学生寮に入って、そこから家を探すという人も多いと聞きます。
(2) 医療について / Medical Care	
保険の加入先 Insurance (Who Designated)	<input checked="" type="checkbox"/> 本学指定の保険 / Hiroshima University <input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学指定の保険 / Host University <input type="checkbox"/> その他 / Others ()
保険の補償内容 Insurance Coverage	補償額 / Coverage 死亡 / Death 円 / yen, 入院1日 / per day of Hospitalization 円 / yen その他 / Others ()
留学前後での予防接種の必要の有無 Immunization Requirement	<input type="checkbox"/> 有 / Yes (種類 /Acquired Immunizations : , 医療機関名 / Location of Immunization :) <input checked="" type="checkbox"/> 無 / No
留学先国の医療事情 (日本と比較して) Difference in Medical Service (Compared to Japan)	病院を使っていないため、わかりません。
留学先での健康管理、衛生面について特に注意すべきこと Healthcare and Hygiene	衛生面はとてもいいと思います。トイレも紙が流せるし、水道水も問題なく飲めます。蚊は多いですが、比較的過ごしやすい国だと感じました。ただ、夏でも1日の寒暖差が激しく、長そでを着ているため、風邪をひきやすいと思います。そのため、風邪薬と虫よけは重宝します。また、日差しが強い(特に夏)ので、日焼け止めを塗った方がいいと思います。
(3) 危険を感じた地域、状況、安全管理において注意したこと / Dangerous Situations and Locations Encountered, Possible Advice for Risk Management	

(4) 食生活についてのアドバイス / Food – Related Advice	
日本食を含むアジア料理が多いです。値は張りますが、和風調味料もある程度そろっているため、自炊する方は現地で日本食も作れると思います。外食は日本より高いため、基本的に自炊がいいと思います。例えば、カフェでのコーヒーは1杯 400 円程度で、昼食は 2000 円ほどかかることが多いです。また、現地の食事は、パイ、パスタ、揚げ物など洋食が基本なので、栄養バランスに注意しています。	
(5) 気候・服装についてのアドバイス / Advice on Local Climate and Clothing	
1日の寒暖差が激しいため、羽織れる上着を持ち歩いたほうが良いと思います。室内では冷房がきいて寒いことも多く、夏でも薄い長そでで過ごしています。雨も降りますが、小雨で短時間で止むので、雨具は折りたたみ傘で十分かと思います。夏は日照時間も長く、カラッと乾いた天気が多いため、過ごしやすいです。	
(6) 学内外の施設・設備環境について (インターネット環境含む) / Available Resources (Library, Cafeteria, Campus Wi-Fi, etc.)	
インターネット環境は整っています。各キャンパスに図書館があり、調べ物や勉強がしやすいです。ただ、CBD のシティキャンパスが一番広く、図書館・フードコート・コンビニ・カフェなどそろっています。	
(7) 現地学生や地域との交流について (どのような、機会・きっかけがありましたか?) / Communication with Local Students and People (Available Opportunities?)	
学生寮で友達になることが多いと思います。その他にも、スポーツ系のサークルやボランティア活動など、多くのイベントがあります。学生寮内でのイベントも多いみたいなので、積極的に参加するのいいと思います。また、授業ではグループワークなどで話す機会が多く、交流を楽しめます。	
(8) 習慣やマナーの違いによる対人関係等、注意すべきこと / Care and Attention regarding Customs and Manners	
移民が多く人種問題に厳しいため、差別発言は避けたいと思います。また、多様性を大事にしていることから、ジェンダー問題や障害のある方などについて、容易に批判したりすることは好ましくありません。マナーとしては、店やバスの乗降で挨拶したり、「ありがとう」を伝えると丁寧です。丁寧な言葉遣いをする人が多いため、コミュニケーションを取る際には、礼儀正しくする必要がありますと感じました。	
(9) 日本から持っていきべきもの、持っていきべきでないもの / What Should You Bring? What Should You NOT Bring?	
持ってきてよかったものは、自炊用の調味料 (しょうゆ、みそ、鶏がらスープの素、だしの素、など) です。持ってこなくてよいものは、手作りのお菓子や肉類を含む食料です。税関での検査が厳しいので、没収される可能性があります。日本食やアジア料理は市内で楽に手に入るため、多く持ち込まなくても大丈夫です。	
(10) その他生活等に関して参考となる情報・アドバイス / Other Useful Information and Advice about Life Abroad	
日常生活では時間にゆとりを持って動く必要があります。ニュージーランドの文化はとてもゆったりしているため、時間通りに進めることは難しいです。そのため、どうしても遅れてはいけない用事などがあるときは、早めに伝えておく方がよいです。ただ、授業の開始時間や提出物の締め切りなどは、あまり遅れることがないためメリハリをつけて生活するとよいと思います。	

6. 帰国後の進路について / Your Career After Study Abroad

卒業予定年月 Expected Graduation Month and Year	2024 年 / year 3 月 / month (当初の卒業予定年月 / Expected Month and Year before Studying Abroad 2024 年 / year 3 月 / month)
---	--

卒業が遅れる見込みの場合、その理由 Reason for Extension of Graduation Month and Year?	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため / Participation in HUSA during 4th Year <input type="checkbox"/> 単位不足のため / Amount of Credits <input checked="" type="checkbox"/> 新卒で卒業するため / In order to graduate as a "new" graduate <input type="checkbox"/> その他 / Others (具体的に / Specific reason:)
現在の状況および今後の予定・進路等 Current Situation, Plan and Career	就職活動は、留学期間中に全てオンラインで行いました。選考を受ける企業の方と相談しながら、進めていきました。今後の予定としては、帰国後に修士論文を作成し、2024年3月に修了する予定です。また修了後は、製造業の会社に就職予定です。
就職活動や留学前の単位取得、教育実習等についての工夫 Pre-arrangement by yourself for your future job hunting, acquisition of credits of required courses and practicum, etc.	<p><就職活動> 修士1年の夏～冬にかけて、長期インターンシップに参加しました。また、12月～2月にかけて企業訪問や1日のみのイベントに参加して、留学前にできる限り社員の方々に会うようにしました。結果、訪問していない企業に内定を頂きましたが、OB訪問やイベント参加することで、企業選びの際にとっても参考になります。選考を受けずとも、自身に合う企業はどんな企業なのか、イメージしやすくなります。</p> <p><単位について> 留学前に、最低必要単位は全て取得しました。留学中の就職活動が負担になることを見据えて、計画的に単位を取得しておきました。実際、心に余裕ができて、勉強と就職活動を両立できました。</p>

7. 留学準備、留学中に役立った書籍、ウェブサイト等 / Useful Books and Website for Study and Life Abroad

書籍、サイト名 Name of Book or Website	詳細（出版社、URL等） Details (Publisher, URL etc.)	コメント Comments
NZ daisuki		ニュージーランドの日本人コミュニティの掲示板です。住居についての掲示などあります。

8. 後輩へのメッセージ / Message for Outgoing Students who Desire to Study Abroad

「ニュージーランド」と聞いてあまりイメージできないと思いますが、実際に留学してみると、現地人はいつも穏やかで日本との共通点も感じるような、親しみの湧く国です。自然も豊かで移民に慣れているため、初めての留学には特におすすめだと思います。

ただ、国の選び方として、留学目的を定めることも大事ですが、直感や些細な理由で興味のある国を選んでみるのもいいと思います。「交換留学生」として、現地の大学に行って学ぶ経験ができるのは、学生の内だけです。例えばニュージーランドでは、同じ授業を受講するとしても「現地の留学生」と「交換留学生」では学費に大きな差があります。交換留学で行けるメリットを最大限活かして、挑戦したいことすべてに飛び込んでみてください。私の大学院に進んだきっかけも、学部時代の留学でした。当時は大学院など考えたこともありませんでしたが、好奇心で挑戦した留学先で、人生を変えた経験があり今に至ります。このように思いもよらぬ出逢いもあり得ますし、どんな経験も、自分にしかない強みになると思います。みなさんの留学を応援しています。

9. 自由記述（日本語・1,200字程度） / Feedback (English about 600 words)

留学中最も印象に残ったのは、多様性に関する細かい配慮です。ニュージーランドには移民や先住民が多く住んでおり、人種、ジェンダー、文化等が多種多様なので、普段の生活からも多様性の配慮されていると感じました。例えば、各授業で自己紹介をする際に、出身地・国籍・人種を言う代わりに、「自分をどんな人だと認識しているか？」という質問がありました。教授は、「自分の理想でもいいし、出自と全く関係なくてもいい。自分が表現したいように紹介してください。」と言っていました。また、そのような配慮が全ての授業で行われていて、多様性に関して柔軟であり、大学の方針も徹底されていると考えました。それと比べて日本では、いまだ多様性についての理解や配慮が不足していると感じています。例えば私の場合、広島大学の中でも留学生の多い研究科に所属しており、ゼミでも私以外すべて留学生なので、日々異文化の環境で勉強しています。国籍を聞くことはあっても、個々の生まれ育った背景や彼らの文化に対する配慮まではできていないと感じました。日本で育った外国籍の方も多くいますが、外国人として扱われていて、多様性について理解を広める必要があると痛感しました。

ジェンダーに関してもニュージーランドでは、個性として認め合う環境でした。レインボーコミュニティが活発で、学内のサークル活動でも行っていたり、同性愛を公表している生徒が多い印象でした。普段の生活でも、性別で比べることなく、とても気遣って話している人が多いことから、国全体でジェンダーへの理解が進んでいると感じました。日本では、ジェンダーに関する配慮はまだ少ないと思います。私の周りに公表している人は僅かで、授業内でも自由に話し合う機会はありませんでした。家庭内でも話題に上がることは少なく、自分が当事者であつたらなおさら苦しいと思いました。自分の性別を自由に表現できて、個性だと認められるようになれば、みんな生き生きと暮らしていける社会になると思います。そのためにまず、自分が他者を理解して受け入れることから始めようと思います。

異文化を乗り越えて協働できる人になりたいと、考えるようになりました。具体的には、互いの立場や考え方の違いを理解して歩み寄り、最善策を提案できる人になりたいです。今回の留学では、多くの困難がありました。意思の伝え方、時間に関する考え方、物事に対する価値観など想像以上に違いは大きく、受け入れるのに時間がかかりました。例えば、「直ぐに」という言葉をきいて、日本では「数分後の行動」を想像すると思いますが、こちらの文化では数時間後または翌日やろうという「前向きに検討している意思」を表しているだけであり、実際に行動に移すかどうかまで意図していませんでした。日本人の時間感覚で考えると、相手の認識とは大きく異なっておりトラブルが多かったです。また、ニュージーランド人は誰にも優しく対応してくれますが、人に親切にすることは文化や習慣の一部であるため、建て前として言っていることもあり、本音を理解することが難しいと感じました。これらの共通認識の違いは、生まれ育った環境や文化背景によって自然と身につけたものなので、衝突が起こってしまうのは仕方がないと思います。ただ、考え方の違う人達と生活して協働するためには、衝突を「文化の違い」で終わらせるのではなく、相手を理解しようとする姿勢をもって、新たな解決策を提案できる人になりたいと思いました。例えば、仕事上で同じチームで協働するとして、相手の言うことを全て受け入れるだけでは、自分や他者の意見を加えられず、いろんな考えを持つ人がいてもより良い結論を導くことはできません。逆に自分の意見を押し通すだけでは、相手の協力も得られず、目標も達成できません。今回の留学を通して、協働することがどれだけ難しいことか実感できたからこそ、修了後は仕事を通じて、異文化を乗り越えられる人に成長したいと強く思っています。

- ① 「ニュージーランドの多様性」という授業にて、教授と生徒達です。ジェンダーや障害などを扱った社会学の授業でした。難しい内容でしたが、他の学生と意見交換する中で、ニュージーランドについて沢山知ることができました。同時に、日本についても、客観的に考え直すことができました。



- ② 「ハカ（マオリ民族の伝統的なダンス）」という授業の様子です。生徒全員で踊りました。グループになってダンスを覚えて、互いに発表しあいました。言葉を越えた交流ができて、いい経験になりました。



- ③ 近くの公園で飼われている羊です。オークランド市が管理しているようですが、公園内に野放しにされているので、近くで見ることができます。



注1) 報告書およびその内容は、留学希望者への情報提供のため、HUSA ホームページおよび広島大学ホームページへの掲載、事務室での閲覧や大学の留学情報案内の作成のために利用させていただきます（氏名及び学生番号については、非公開とします）。ただし、公開にあたり不適切と判断された内容については、国際交流グループにて削除等させていただきますので予めご了承ください。 / This report and its contents will be uploaded on website of the HUSA and Hiroshima University, browsed at the office and used for information regarding study abroad at Hiroshima University in order to provide information to students who desire to study abroad. (Student name and student number are not published). If the report and its contents are included inadequate contents to be published, it would be deleted or amended it by International Exchange Group.